

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策3	快速で魅力あるまちを目指します
取組1	暮らしがよくなる都市拠点の創出
取組の目的	誰もが安心して快適に暮らせる、いつまでも暮らしがよくなるまちづくりを推進します。
現状と課題	◎今後、少子高齢化の進展や人口減少などが見込まれ、既存市街地の空洞化や公共施設の老朽化などにより生活機能の低下が懸念される。それにより、税収等の減少や施設老朽化に伴う維持管理費の増大などが見込まれるため、人口増加を前提としたまちづくりからの転換が急務である。 ◎多様な生活機能がコンパクトに集積した都市拠点等を形成するとともに、郊外を結ぶ交通ネットワークを整備することで、誰もが安心して豊かに暮らすことができる居住環境の構築が求められている。また、災害に強いまちづくりも不可欠である。 ◎地域の特性を活かすとともに、市民一人ひとりが積極的にまちづくりに参加していくことが求められている。

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	市民がまちづくりに参加する地区数(地区計画など)[↑] (地区)	目標値	—	8	9	10	10	10	100.0%
		実績値	6	7	7	10			
2	地区計画などの実施面積[↑] (ha)※(兼)政策指標	目標値	—	338	346	355	360	360	86.8%
		実績値	299	299	308	308			
3	土地区画整理実施区域内の未利用区画数[↓](区画) ※実績値:上段は期間内施行地区のみ 下段は市域全体	目標値	—	817	792	784	777	770	100.0%
		実績値	860	783 (684)	765 (599)	762 (556)	763	764	
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							

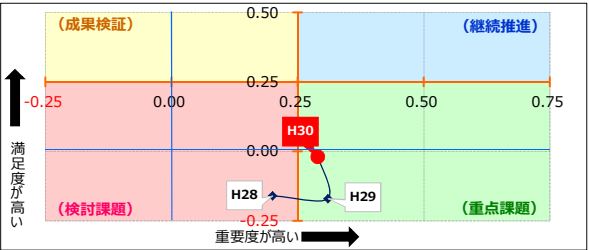
2. 県内他市との比較

番号	指標名						
1							
2							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策3・取組1 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.20	0.31	0.29		
満足度	-0.16	-0.17	-0.02		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績値	R1年度 予算値	R2年度 予算の方向性	
基本方針(1)コンパクトに生活機能が集約した都市拠点の形成					
袋井駅南地区まちづくり事業	都市計画課	9,285	117,312	拡充	◎
基本方針(2)安全で魅力ある市街地の形成及び再生					
袋井駅南都市拠点土地区画整理事業	都市計画課	293,120	299,200	拡充	◎
基本方針(3)地域資源の保全と良質な景観形成の推進					
景観形成推進事業	都市計画課	956	467	維持	
屋外広告物適正化事業	都市計画課	2,851	3,031	維持	
基本方針(4)総合的な住宅施策の推進					
市営住宅施設整備事業	都市計画課	49,418	43,560	維持	
基本方針(5)まちづくりへの市民参加の推進					
地域まちづくり支援事業	都市計画課	421	1,278	維持	
5. 総合評価					
I. 評価の分析	◎市民がまちづくりに参加する地区数及び地区計画などの実施面積については、3地区で地区計画の実施に向けた協議を開始した。こうした取組の結果、令和元年度には地区計画が新規で2件実施される見込みとなった。 ◎土地区画整理実施区域内の未利用区画については、需要が高い場所に保留地を配置していることや地域の住環境が整っているため、土地利用が図られた。 ◎市民意識調査の結果については、満足度は前年より上昇したものの、依然として中間値を下回っており、低い状態にある。一方で重要度に大きな変化はなかった。				H30 の評価 B (概ね順調)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎地区計画の実施に向け、上山梨地区、豊沢地区及び上久能地区で協議を行った。 ◎袋井駅南都市拠点土地区画整理事業への技術支援を行い、建物移転、埋蔵文化財調査、公共施設整備を推進した。 ◎袋井駅南田端商業土地区画整理組合(業務代行方式)を平成30年11月に設立するとともに、事業推進に向けて技術支援を実施した。 ◎田端宝野線検討委員会(平成27年設立)に参画し、地域内での課題共有を図り、事業化に向けての協議を推進した。				
III. 今後の展開方向	◎都市計画マスタープランに位置付けられた次世代産業地や都市活力創出地、防災都市づくり計画を基に、市街地の改善が必要な地区について、地区計画の適用を検討していく。また、土地区画整理事業の進捗を踏まえて、都市計画決定を行った地区計画等の周知を図る。 ◎都市と自然の調和を図りつつ、原則として市街地の拡大を抑制し、人口減少・高齢社会を見据えながら、誰もが快適に暮らしていけるコンパクトな都市構造への転換を目指す。そのために、都市拠点・地域拠点を中心に生活機能の集約を促進するとともに、各拠点を幹線道路や公共交通等のネットワークで結び、拠点間の連携を強化していく。 ◎用途地域外の農村・集落部についても、コミュニティセンター等を中心に、集落の生活とコミュニティの充実により地域活力の維持・向上を図るとともに、豊かな自然環境との調和を図ることでゆとりと潤いを創出していく。				

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策3	快速で魅力あるまちを目指します
取組2	誰もが移動しやすいまちづくり
取組の目的	日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、利用しやすい公共交通と拠点ネットワークを構築します。
現状と課題	◎高齢者など交通弱者の移動手段を確保するため、様々な交通手段を組み合わせ、利用しやすい公共交通網を構築することが求められている。しかしながら、自家用車等の普及による公共交通に頼らない生活の広がりから、民間路線バスや自主運行バスの利用者の伸び悩みに加え、高齢化による運転手不足の影響など、民間事業者においても事業維持が難しくなっており、その対応が喫緊の課題である。 ◎道路や橋梁などのインフラについては、老朽化する道路ストックを含めた社会資本について、適切な維持管理と計画的な更新を行いながら、トータルコストの縮減、平準化を目指していく。

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	市営バス(自主運行バス・デマンドタクシー・地域協働運行バス)の利用者数[↑](人/年)	目標値	—	31,456	33,201	35,064	37,055	39,183	100.0%
		実績値	28,289	38,071	36,709	36,825			
2	幹線道路の歩道整備率[↑](%)	目標値	—	39.9	40.0	40.1	40.2	40.3	100.0%
		実績値	39.7	40.1	40.1	40.8			
3	協働による道路整備適用率(生活道路)[↑](%)	目標値	—	82.5	85.0	87.5	90.0	92.5	100.0%
		実績値	73.7	85.0	85.0	87.5			
4	修繕実施橋梁数[↑](橋)	目標値	—	19	22	25	27	29	100.0%
		実績値	14	21	22	25			
		目標値	—						
		実績値							
		目標値							
		実績値							

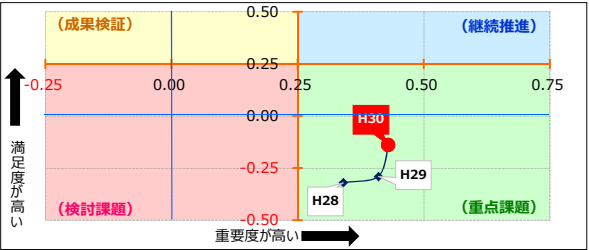
2. 県内他市との比較

番号	指標名						
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策3・取組2 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.34	0.41	0.43		
満足度	-0.32	-0.29	-0.14		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績額	R1年度 予算額	R2年度 予算の方向性	

基本方針(1) 利用しやすい公共交通網の構築

自主運行バス運行事業	協働まちづくり課	53,195	54,420	維持	
生活バス路線確保対策事業	協働まちづくり課	56,095	69,500	維持	
天竜浜名湖鉄道運営支援事業	協働まちづくり課	716	1,109	維持	

基本方針(2) 安全で円滑な道路整備の推進

袋井市上山梨沿道整備土地地区画整理事業	都市整備課	196,656	100,000	維持	
(都)山梨中央通り線新設事業	都市整備課	109,987	240,200	維持	
(都)諸井山の手線改築事業	都市整備課	47,696	32,335	拡充	◎
3級市道整備事業	建設課	23,758	47,600	維持	

基本方針(3) 協働によるみちづくりの推進

協働によるみちづくり事業	建設課	734	600	維持	

基本方針(4) 道路の老朽化対策の実施

道路・橋りょう維持管理事業	建設課	179,259	181,300	維持	
橋りょう長寿命化修繕事業	建設課	103,560	100,000	維持	
道路ストック総点検事業	建設課	55,000	52,000	維持	
道路舗装補修事業	建設課	58,644	45,148	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市営バスの利用者数については、デマンドタクシーの運行方法の見直し(増便・料金値下げ等)利用者が増加したことなどで、増加につながった。しかしながら、今後の高齢化の進行等により、公共交通の果たす役割がますます重要になると考えられることから、利用者ニーズの把握と地域の特性に応じた公共交通の再構築が急務。 ◎幹線道路の歩道整備率、協働による道路整備適用率及び修繕実施橋梁数については、いずれも新規の道路整備と既存施設の適切な保全を計画的に実施した結果、目標値を達成した。また、施行中の路線についても、選択と集中を行い、効率的な道路整備を推進すると同時に、国の重点施策と結びつけるなど、新規整備費の確保に努める。 ◎市民意識調査の結果については、満足度は前年より上昇したものの、依然として中間値を下回っており、低い状態にある。一方で重要度は高い。	H 30 の 評 価	C (一部に改善 を要する)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎民間路線バスを基幹路線とする中で、市ではそれを補完する形で自主運行バス、デマンドタクシー及び地域協働運行バスを運行した。 ◎停留所型デマンドタクシーの導入や自主運行バスの車両変更、運行事業者の変更に向けて、市民を対象とした説明会を開催し、周知を実施した。 ◎各自治会の要望や各事業の地元要望による道路整備を円滑に進めるため、地域との合意形成を図りながら事業推進に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎令和3年度以降の新たな本市の公共交通の構築に向けて、地域公共交通会議委員に専門家を招集するとともに、地域ごとに話し合いの場を持ち、それぞれの課題やニーズを把握することで、地域の特性に応じた在り方を検討していく。 ◎平成29年に策定した袋井市みちプログラムや生活道路整備の評価に基づき、選択と集中による計画的・効率的な道路整備・管理を行うとともに、広域幹線や拠点間の連携による利便性の高い公共交通体系の構築に取り組んでいく。また、修繕が必要な橋梁が数多くあるため、損傷が進む前に早めの対応を行い耐久性を高め、橋梁の更新時期の集中を避けるよう、国に交付金増額を申請し財源確保に努めるとともに、修繕の優先順位等の検討など計画の見直しも検討する。		

政策3	快速で魅力あるまちを目指します
取組3	花と緑と水のまちづくり
取組の目的	地域の資源を活かした憩いの場の創出や、花と緑にあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎公園や広場は、地域により偏りがあることから、川や里山などの自然資源等を活用するなど、地域の特性を活かした整備や維持管理が必要である。 ◎本市の都市公園の多くは、高度経済成長期に整備され、供用開始後30年以上の公園が増加しており、管理コストが増加していく見込みとなっている。そのため、壊れたら直すといった、これまでの事後保全から、定期的に修繕を行う予防保全対策が必要である。また、公園や街路樹等の維持管理については、自治会等の団体に依頼しているが、高齢化や農作業等の経験者が少ないことから、後継者が不足している。 ◎公共施設及びまちづくりにおける花木の活用や、花や緑に親しむ取組の推進が求められている。
--------------	--

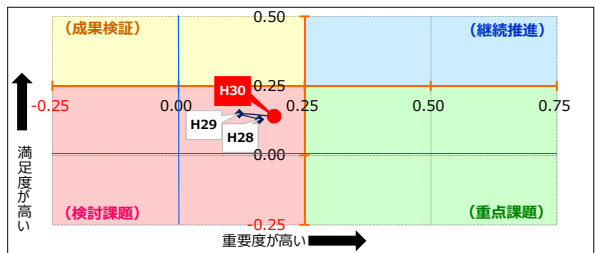
※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	未利用地を活用した広場面積 [↑] (㎡)	目標値	—	調査	制度の 確立	400	700	1,000	0.0%
		実績値	—	調査	制度の 検討	0			
2	公園愛護団体数[↑] (団体)	目標値	—	81	82	83	84	85	98.8%
		実績値	80	82	84	82			
3	花工場の花苗配布数[↑] (ポット／年)	目標値	—	166,000	167,000	168,000	169,000	170,000	97.8%
		実績値	165,601	164,150	164,075	164,225			
4	花育に関わる講座・イベントの開 催数 [↑](回／年)	目標値	—	8	10	13	16	20	100.0%
		実績値	7	9	12	23			
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県
1	人口1人当たり都市公園等面積(㎡) 県「市町の指標(平成30年度)」	28.4	9.4	14.4	8.1	4.2	9.4
2							

(政策3・取組3 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.16	0.12	0.19		
満足度	0.13	0.15	0.14		



事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績額	R1年度 予算額	R2年度 予算の方向性	
基本方針(1)身近な公園・広場の創出					
みづかわ夢の丘公園維持管理事業	環境政策課	13,363	14,375	維持	
公園愛護活動事業	都市整備課	5,661	5,881	維持	
東海道どまん中袋井宿発信事業(メモリアル広場整備含む)	協働まちづくり課	553	585	維持	

花壇維持管理事業	都市整備課	5,903	5,992	維持	
花工場運営事業	都市整備課	5,446	5,455	維持	

花咲くふくろい推進事業	都市整備課	3,348	1,529	維持	

公園芝生・樹木等管理委託事業	都市整備課	70,518	55,933	維持	
街路樹管理委託事業	都市整備課	68,119	70,756	維持	
公園維持管理事業	都市整備課	47,271	51,807	維持	
公園長寿命化事業	都市整備課	31,541	45,097	維持	◎

--	--	--	--	--	--

I. 評価の分析	◎未利用地を活用した広場面積については、新たな活用には至らなかったが、旧浅羽町時代から市有地を地元住民で管理(活用)している広場について、地元有志による簡易な公園施設の整備が進み、地元の公園として地域で維持管理をする規約が提出された。 ◎緑化推進につながる花工場の花苗配布は、目標値を下回っていることから、未申請の自治会や公共施設に参加を呼びかけ、配布団体の増に努めたが、目標達成には至らなかった。 ◎花育に関わる講座・イベントの開催数については、県グリーンバンクの花育事業(寄せ植えの材料をグリーンバンクが負担)をPRしたことで、花育事業の参加が増えた。また、市内各コミュニティセンターで寄せ植え講座を開催し、延べ約300人の参加者があった。 ◎市民意識調査の結果については、重要度が上昇した。	H 30 の評 価 B (概ね順調)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎充足度調査に基づき、公園の無い地域や課題を抽出した。 ◎愛護団体に維持管理に必要な原材料の支給や芝刈り機の貸し出すとともに、新たな担い手の確保のため、各種団体に協力を働きかけた。 ◎花工場において効率的に花苗を生産し、ボランティア団体や学校に配布した。 ◎県グリーンバンクの花育事業(寄せ植えの材料をグリーンバンクが負担する)や、球根・緑化木などの定期配布事業を活用し、緑化推進を図った。 ◎歩いてみたくなる水辺空間の創出事業として「ミズベリングふくろい」を、『歩く』をキーワードとしたにぎわいの創出イベントとして「東海道とまん中ふくろい宿場まつり」を開催した。	
III. 今後の展開方向	◎未利用地を活用した公園整備については、公園のない地域に自治会を通しアンケート調査を実施していく。 ◎老朽化が進む公園施設については、公園長寿寿命化計画に基づき、日常点検や詳細点検を実施するとともに、必要な対策を計画的に実施していく。また、公園や街路樹に対する愛着と大切に扱う意識の醸成に努めるとともに、引き続き各種団体に公園愛護活動への協力を働きかけていく。 ◎市内各コミュニティセンターでの寄せ植え講座を継続し、市内全体の緑化を図っていく。 ◎花工場の花苗については、新たな花工場の設置について検討するとともに、広く市民に配布し、緑化推進に努める。	

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策3	快速で魅力あるまちを目指します
取組4	恵みある河川・海岸づくり
取組の目的	人の生活に欠かせない水や多様な生物が生きる河川や海岸を大切にし、河川愛護や海岸保全の活動を推進します。
現状と課題	◎浅羽海岸については、海岸清掃やグリーンウェーブ活動などの実施により、環境保全に努めるとともに、令和10年(2028年)度の完成に向け、県の防災林造成事業と連携しながら、防潮堤の整備を進めている。浅羽南部地域の周辺施設を含めて、地域住民に有効利用される施設とする必要がある。 ◎河川や海岸を市民の貴重な財産として引き継いでいくため、一人ひとりが関心と責任を持ち、保全活動に取り組んでいく必要がある。しかしながら、河川堤防について、草刈りなどの維持管理を自治会や部農会などに担っていただいているが、高齢化や人口減少の影響により継続実施が困難となっており、支援の充実と新たな担い手確保が必要である。

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	浅羽海岸クリーン作戦参加者数 [↑] (人/年)	目標値	—	1,400	1,400	1,400	1,450	1,500	71.4%
		実績値	1,400	1,000	1,000	1,000			
2	河川愛護活動参加者数[↑] (人/年)	目標値	—	25,500	26,000	26,500	27,000	27,500	81.3%
		実績値	24,571	23,416	22,496	21,550			
3	河川愛護(リバーフレンドシップ) の協定締結団体数[↑] (団体)	目標値	—	48	49	50	52	55	100.0%
		実績値	46	52	52	52			
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							

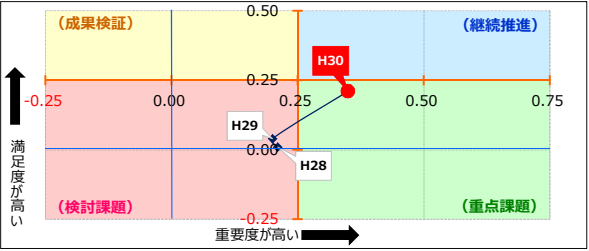
2. 県内他市との比較

番号	指標名						
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策3・取組4 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.21	0.20	0.35		
満足度	0.01	0.04	0.21		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績額	R1年度 予算額	R2年度 予算の方向性	
河川・排水路維持管理事業	建設課	32,070	29,722	維持	
山田下谷の沢整備事業	建設課	7,198	3,800	維持	

基本方針(1)環境に配慮した河川・排水路の整備推進

河川・排水路維持管理事業	建設課	32,070	29,722	維持	
山田下谷の沢整備事業	建設課	7,198	3,800	維持	

基本方針(2)河川愛護の推進

河川・海岸愛護事業【3-4-(2)再掲】	建設課	35,150	39,263	維持	

基本方針(3)美しい海岸の創出

河川・海岸愛護事業【3-4-(2)再掲】	建設課	35,150	39,263	維持	
松林保全管理事業(グリーンウェーブ活動)	農政課	9,179	2,989	拡充	◎
松食い虫等防除事業	農政課	1,539	2,460	維持	
生活環境保全林ゴミ清掃事業(県有防災林)	農政課	135	120	維持	

基本方針(4)海岸侵食対策の推進

福田漁港・浅羽海岸サンドパイパス推進事業	建設課	—	—	維持	

基本方針(5)防潮堤整備と利活用の促進

静岡モデル(袋井市)防潮堤整備事業【5-1-(3)再掲】	建設課	177,442	50,000	縮小	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎浅羽海岸クリーン作戦参加者数は、天候により増減がある中、昨年度同様の参加者となり、目標値を下回った。 ◎河川愛護活動参加者は、作業が危険な箇所もあるなど、高齢化とともに年々減少しており、昨年度は前年比約900人減となっている。参加者の増加に向け、引き続き自治会へ働きかけするとともに、より安全な河川愛護活動ができる対策と担い手確保を講ずる必要がある。 ◎防潮堤整備事業については、「袋井幸浦の丘プロジェクト」として、利活用促進に向け、地元とのワークショップを実施した。 ◎市民意識調査の結果については、満足度及び重要度のいずれも上昇した。	H 30 の 評 価	B (概ね順調)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎7月の海岸愛護月間に併せて、浅羽海岸で地元自治会や浅羽中学校生徒を中心に、「海岸クリーン作戦」と称して実施した。また、松くい虫被害防止・グリーンウェーブキャンペーン事業(育樹活動)、県有防災林のゴミ清掃など、地域団体とともに保全活動を行った。 ◎豊沢工業団地開発の発生土を活用して防潮堤を整備するとともに、防潮堤の利活用を中心とした地域活性化に繋がる活動を促進するため、4回のワークショップを実施した。 ◎地元自治会などの協力により、河川草刈り等の河川愛護活動を実施した。 ◎県と協力して河川愛護協定制度の周知に努め、新規団体の参加を促進した。		
III. 今後の展開方向	◎防風林の保護については、県委託事業と市単独事業を継続実施していく。また、被害拡大防止森林に存在する枯松に対する対応策の検討と方針の周知などを行う。 ◎堤防の草刈りを含めた河川愛護活動について、参加者が減少しているため、新たな担い手を確保すべく、利用団体等への協力の呼びかけや協力団体への支援環境を整えていく。		

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策3	快適で魅力あるまちを目指します
取組5	豊かな環境の醸成と継承
取組の目的	市民・地域や企業等との協働により、環境にやさしい持続可能な社会の構築と多様性ある自然環境を保全します。

現状と課題	◎地球温暖化防止向け、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築が求められていることから、省資源・省エネルギー化(ごみ減量化)や再生可能エネルギーの活用を推進していく必要がある。 ◎健康で快適な生活環境を守るため、公害防止対策や不法投棄防止、ペットの適正な飼育などについて、地域や企業と協力して推進していく必要がある。 ◎豊かな水辺環境などの自然を守るため、市民や地域、企業等が連携して環境保全活動に取り組むとともに、地域の特性に応じた効果的な汚水処理(公共下水道・合併処理浄化槽)を推進していく必要がある。
-------	---

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	1人1日あたりの可燃ごみの排出量[↑](g/日)※(兼)政策指標	目標値	—	516	515	514	512	510	94.4%
		実績値	518	529	529	543			
2	市内の電気使用量に占める再生可能エネルギー割合[↑](%)	目標値	—	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	—
		実績値	4.1	非公表となったため把握不可					
3	再生可能エネルギー機器設置件数[↑](件)	目標値	—	7,983	8,883	9,783	9,900	10,000	87.5%
		実績値	6,183	7,602	8,237	8,564			
4	生ごみ処理機等設置費補助金交付件数[↑](台)	目標値	—	2,290	(新) 2,315 (旧) 2,355	(新) 2,340 (旧) 2,420	(新) 2,365 (旧) 2,485	(新) 2,390 (旧) 2,550	96.2%
		実績値	2,160	2,245	2,249	2,251			
5	環境教育(ごみの教室、アースキッズ事業、エコバを活用した環境教育)の実施件数[↑](件/年)	目標値	—	45	46	47	48	50	97.9%
		実績値	43	44	44	46			
6	汚水処理人口普及率[↑](%)	目標値	—	74.0	75.4	76.8	78.2	79.6	100.0%
		実績値	71.3	73.9	75.9	77.5			

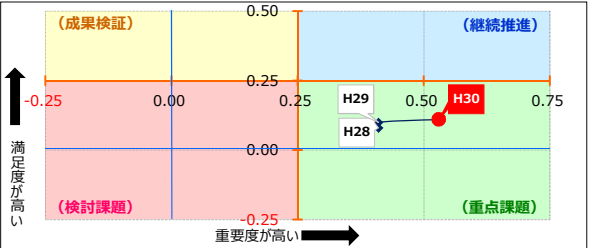
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県
1	平成28年度生活系ごみ排出量(1人1日あたり)(g) 県「一般廃棄物処理事業のまとめ(平成28年度)」	608	514	502	531	589	592
2	平成30年度末汚水処理人口普及率(%) 県「生活排水課公表資料」	77.5	89.9	73.8	73.3	79.2	81.4
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策3・取組5 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.41	0.41	0.53		
満足度	0.08	0.10	0.11		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に重点化する事業
		H30年度実績値	R1年度予算値	R2年度予算の方向性	

基本方針(1)資源循環型社会の推進

新エネルギー推進事業【3-5-(3)再掲】	環境政策課	16,359	18,506	維持	
資源ごみ回収自治会奨励交付金交付事業	環境政策課	9,457	9,468	維持	
バイオマス利活用推進事業【3-5-(3)再掲】	環境政策課	529	536	維持	
省エネルギー推進事業【3-5-(3)再掲】	環境政策課	119	80	維持	

基本方針(2)環境保全意識の高揚

環境教育推進事業	環境政策課	1,850	1,825	拡充	◎

基本方針(3)地球環境の保全

新エネルギー推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	16,359	18,506	維持	
バイオマス利活用推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	529	536	維持	
環境基本計画推進事業	環境政策課	852	491	維持	
省エネルギー推進事業【3-5-(1)再掲】	環境政策課	119	80	維持	

基本方針(4)郷土の豊かな水辺環境の保全

公共下水道事業(袋井処理区)	下水道課	532,890	601,383	維持	
公共下水道事業(浅羽処理区)	下水道課	178,796	198,900	維持	
公共下水道処理場整備事業(袋井処理区)	下水道課	92,179	160,026	拡充	◎
合併処理浄化槽設置事業	下水道課	120,063	122,068	拡充	◎
環境保全推進事業【3-5-(5)再掲】	環境政策課	4,192	5,378	維持	

基本方針(5)生活環境の保全・改善

環境保全推進事業【3-5-(4)再掲】	環境政策課	4,192	5,378	維持	

基本方針(6)快適な環境の創造

美化運動推進事業	環境政策課	11,174	10,698	維持	
飼い犬管理事業	環境政策課	1,030	2,860	維持	
不法投棄対策事業	環境政策課	570	746	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎グリーンリサイクル事業縮小により、市公共施設からクリーンセンターへの剪定枝搬入量が増えたこと、台風24号の被害で可燃ごみが多量に発生したことなどが原因で可燃ごみ排出量が増加した。 ◎再生可能エネルギー機器の設置数は増加しているものの、固定買取価格の低下により設置の伸び率が低下し、目標値には到達していない。 ◎汚水処理人口普及率は、公共下水道の整備や供用開始区域内における接続率の向上、合併処理浄化槽への転換促進により、目標値を達成している。 ◎市民意識調査の結果については、重要度が上昇した。	H30の評価	C(一部に改善を要する)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎古紙集団回収促進などのごみ減量推進事業を実施するとともに、「生ごみ水切り大作戦」(各種会合やイベントでの水切りPRや実演)を昨年度から継続して実施した。 ◎広報誌及びホームページで、新エネ・省エネ機器や生ごみ処理機導入の補助金制度PRを行った。 ◎小中学校や自治会などに対して環境教育事業のPRを行い、環境教室の利用促進を図った。 ◎公共下水道の整備、供用開始区域内への訪問による接続推進及び単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換促進に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎ごみ減量推進事業「生ごみ減量(水切り10%)大作戦」を実施し、自治会や事業所への啓発に取り組むほか、生ごみリサイクル事業なども継続して実施し、ごみ処理経費の削減を進める。 ◎新エネ・省エネ機器の導入促進や生ごみ処理機の導入促進(安価で維持管理費用不要のコンポストの購入を推進)、環境教育事業の実施については、引き続き広報やホームページ等で周知を図る。 ◎公共下水道事業の事業計画に基づき、下水道の整備を推進するとともに、合併処理浄化槽の設置・維持管理費補助制度による転換促進、合併処理浄化槽の設置や公共下水道への接続の推進を図る。		

取組別評価シート(平成30年度実績)

政策3	快速で魅力あるまちを目指します
取組6	生活を快適にするICT環境の構築
取組の目的	市民生活や産業活動におけるICTの利用環境の充実を図るとともに、ICTにより市民サービスの向上を図ります。

現状と課題	◎情報通信技術の進歩が著しいSociety5.0の社会では、IoTやAI、ロボット等の先端技術が、社会のイノベーションと新たな価値を生み、私たちの日常生活をはじめ、学業や仕事の仕方が大きく変革することが期待されており、今後さらなる普及展開がや環境整備が求められている。 ◎ICTを活用できる人材が地域にいたることが望ましいが、ICT人材の育成には多くの時間と経費が必要であるため、知識と技術を効果的かつ効率的に取り入れていくには、ICTに強みを持つ民間や大学等とのこれまで以上の連携が必要である。
-------	---

1. 取組指標の実績値

※[]内の矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

番号	指標名	項目	H26 (基準値)	H28	H29	H30	R1	R2 (目標値)	H30 達成率
1	電子申請で届出・申請可能な手続きの種類[↑] (種類)	目標値	—	21	22	23	24	25	100.0%
		実績値	20	20	24	29			
2	オープンデータ公開件数[↑] (件)	目標値	—	100	(新) 500 (旧) 200	(新) 600 (旧) 300	(新) 700 (旧) 400	(新) 800 (旧) 500	100.0%
		実績値	0	443	533	668			
3	公共施設のWi-Fiスポット設置割合 [↑](%)※(兼)政策指標	目標値	—	52.5	62.5	75.0	87.5	100.0	100.0%
		実績値	42.5	57.5	62.5	75.0			
		目標値							
		実績値							
		目標値							
		実績値							

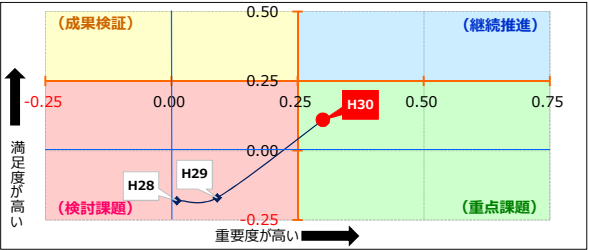
2. 県内他市との比較

番号	指標名						
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

(政策3・取組6 重要度と満足度の評価マトリクス)

区分	H28	H29	H30	R1	R2
重要度	0.01	0.09	0.30		
満足度	-0.18	-0.17	0.11		



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			R2年度に 重点化する 事業
		H30年度 実績額	R1年度 予算額	R2年度 予算の方向性	

基本方針(1)ICTを活かした先進性の高いまちづくりの推進

ICTを活かした先進性の高い街づくり事業(地方創生推進交付金事業)	ICT街づくり課	5,300	3,800	維持	
ICT街づくり推進事業	ICT街づくり課	2,466	3,080	維持	

基本方針(2)新たな価値の創出と地域活性化につながるICTの活用

ICT街づくり推進事業(地方創生推進交付金事業)	ICT街づくり課	4,250	0	皆減	

基本方針(3)ICTを活用できる人材の育成

ICTを活かした先進教育推進事業	教育企画課・学校教育課	23,257	0	皆減	
小学校学方向上対策事業	学校教育課	2,360	13,815	維持	◎
中学校学方向上対策事業	学校教育課	3,105	4,257	維持	◎

基本方針(4)ICTインフラの整備

Wi-Fi環境整備事業(地方創生推進交付金事業)	ICT街づくり課	6,900	2,129	維持	
ICT街づくり推進事業【再掲3-6-(1)】	ICT街づくり課	2,466	3,080	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎電子申請で届出・申請が可能な手続きの種類については、電子申請フォーム例を具体的に示したことで、利用しやすい業務が明確になり、活用が進んだ。 ◎オープンデータの公開件数は、市のホームページと連動したオープンデータ専用サイトの開設など、公開に係る事務負担を軽減したことで大きく増加した。 ◎公共施設へのWi-Fi設備は、計画どおり整備が進んでいるが、民間施設等に対しては、所有者の理解を得ながら整備促進を図っていく必要がある。 ◎市民満足度調査では、重要度・満足度ともに昨年度よりも大幅に高まっている。	H 30 の 評 価	A (順調)
II. 30年度に取り組んだ内容	◎庁内向けICT通信で申請手続きの電子申請化啓発及び電子申請フォーム作成の例示、活用を呼び掛けた。また、マイナンバー・マイナポータルの基盤を活用した「びったりサービス」を利用し、子育て分野の申請手続きの電子化に取り組んだ。 ◎オープンデータの利活用については、しずおかオープンデータ推進協議会や各種研修会等に参加し、先進的な取組の導入を検討したとともに、静岡理工科大学と連携し、市の各種データとオープンデータを組み合わせた分析等を実施した。 ◎官民データ活用推進を盛り込んだ「第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画」を策定した。 ◎市のホームページと連動したオープンデータ専用サイトを開設し、データ掲載に係る職員負担を軽減しつつ、継続的にデータを公開できる仕組みを導入した。 ◎AIチャットボット総合案内サービス「AIスタッフ」やIoTを活用した地域見守り体制の構築など、先進技術を積極的に取り入れた実証実験を行った。 ◎Wi-Fi環境構築については、ラグビーW杯を見据えて、愛野駅2か所への設置及びキャリアバッグ型仮設Wi-Fiを3台を導入した。		
III. 今後の展開方向	◎新たに策定した「第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画」に基づき、ICTを活用した業務改革はもとより、オープンデータ化、マイナナンバーカードの利活用、デジタルデバイドの解消に向けた取組を進めていく。 ◎ICT人材の育成に向けては、小中学生に端末機器と通信環境を整え、充実した支援員を配置した上で分かりやすい授業を行っていく。 ◎オープンデータのコンテンツを充実していくことに加え、より2次利用しやすいデータを公開するとともに、アプリなどへの積極的な利活用を図っていく。 ◎市内の多くの場所でインターネットを利用できるよう、店舗や観光施設など民間事業者等と連携してWi-Fi環境の充実に努めていく。		